

夏だ！ 山だ！ 高原だ！
爽やかな空気。柔らかな草原
の風景。可憐な花。
霧ヶ峰高原では時間がゆっ
くりと流れている。

第55回諏訪市スポーツ祭
霧ヶ峰花祭りオリエンテーリング大会
2004年7月11日(日)
長野県諏訪市霧ヶ峰高原強清水

夏の霧ヶ峰へ

標高1600mなら避暑ができるし、山歩きたりニッコウキスゲが観賞できる、高地トレーニングにもなるわと、リフレッシュを兼ねてみちの会メンバーと金子えみりんと参加することになりました、埼玉人遠征です。

受付テントに行き申し込みすると昔懐かしい布製のゼッケン配布されます。特にスタート時刻指定なし。9時からスタート開始のはずだがまるでその気配が感じられない。ややこれはひょっとして一斉スタートか？と思うものの、特にアナウンスもなく不安に思っていると開会式が始まりました。参加者は30人ほどでしょうか。



まずは高原の芝生でウォーミングアップ

タイムスリップ

会長のお言葉の後、地図配布。手にとるとなんと白黒マップ、それも地形図1:25000を手書きでトレースしたようで、1:10000仕様にしてあり、磁北線は斜め。いやはやこういう地図でもアドベンチャーゲームや一般登山者のナビゲーション講習会にスタッフ参加したおかげで、最近は地形図の読み方のコツを掴んでおります、びびらないわ。

コース印刷はされてません。じゃあひょっとしてマスターマップ方式？はいその通り。そしてセパレートのコントロールカードの代わりに地図にジョイントしてあるチェック欄を使います。コントロールはパーマネントコース用のポストと、大会用に設置されたフラッグを使い、チェック欄に文字を書き写すかスタンプを押します。え、じゃ赤ペンか書くものも持ってかなきゃならない？はいその通り。おー、子どもの頃からオリエンテーリングやっているけれど、個人戦デビューの頃にはもう地図にはコース印刷されてたし、パンチチェックだったし。今日は実は初のマスターマップコンペティションかしらん？しかも赤ペンもって走るなん落としそう...

ところで今日の天気はあまりよくなく雨が上がった後であちこちぬれてはいるけれど地図ビニは用意されてないよね。はいその通り。破れないように気をつけなきゃ。元木さんはちゃんと自分用の地図ビニ持ってきていました。準備ばっちり、さすがです。



スタートは会場の本部テントから

コース距離は7キロと聞いてたけど10キロと言われ、いったいどこまで行くのか、ひょっとして車山まで登って

しまうのか。そんなうずまく不安の中、着替えをし、アップをしつつ、いつスタートかと待機していると役員さんがいきなり、『じゃあスタート始めます。ゼッケン71番と51番の組〜〜』と呼ぶではないですか。受付順のスタートです。

えみりんと木村さん親子がトップスタート、3分間隔で、私は2番目のスタートで、マスターマップを自分の地図に写し始めました。

わー、出ました！特徴物にコントロール置いていない、分岐から10~20mぐらい入ったところかな、適当に丸書きし、適当にアタックしたら見つからないだろうなあ。これはナビゲーションというより宝物探しゲーム、ある意味とても楽しくなってきました。コース距離は10キロといわれてたけど、どう見ても5、6キロしかない。ほとんどトレイルパスを回るコースです。



霧ヶ峰大会ファミリーの部
手書きモノクロ地図にマスターマップから
コースを写します。

さて1番コントロールに向かうとちょうど同時開催で花祭りウォークをしていた50人くらいの集団が同じルートで、彼らがのんびり歩いている中、ゼーゼーはーはー走りながら抜かしていきます。が、丸の真ん中にきても(道の分岐なのに)フラッグがない。きょろき

よる見回すがない。ミス設置？それはないだろう。そのうちさっきの集団に追いつかれ、ちょっと変な様子で（こちらがか）見えています。そんなの気にせず、そうだ、今日はパーマメントコースがメイン、視点を競技者から一般人的(?)な視点にしなきゃならん、気分は30年前のオリエンテーリングだ、フラッグはきつと隠されているに違いないと茂みの裏をのぞくとありました、フラッグ発見。こういう隠されたポストのにおいに導かれるあたり、古いオリエンティアなのかしら、そして菅平の白樺荘でお世話になっていた時、パーマメントコースのポスト位置は特徴物にきちんと置くべきと、多くの宝物探しのポスト位置を修正したことが生かされてきます。



霧ヶ峰名物ニッコウキスゲ。
7月の高原に優雅に群生する。
今年の開花状況は、いまひとつ

ナビゲーション？ 宝探し？

オリエンテーリングはコントロール位置を特徴物がない地図上に置いて（地図が正確なら角度と歩測でなんとかなると思うけれど）ウロウロと適当に探させるのではなく、自分（達）で考えたルートを手図とコンパスを使って正置をしながら現地と照合して正しく進んでいけばちゃんと目印が出てくる、それがオリエンテーリングだと私は思っています。だから簡単過ぎるくらいの位置（道の分岐とか）でも構わない。

野外実習やレクでオリエンテーリングをやるときに特徴物のない漠然としたコントロール位置があるコースだと探し回っても見つからない（地図が正しいかもわからないし）いやになっ

ちゃった、オリエンテーリングはもう嫌い！とってしまうことの原因の1つに、こういうことがあるのでは？

そもそもオリエンテーリング（ナビゲーション）の楽しさを伝える方法が間違っているんじゃないかと思ったりします。コンパスの使い方を教えるのは直進の1,2,3ではなく、地図と現地を正しく正置するために使う方法を説明することが初心者には必要なだけだなあ。

フラッグの匂い

話はだいぶそれちゃいましたが、こんな感じで半分のフラッグは特徴物からちょっと離れた、しかも藪の中にあたりもするのですが、フラッグのにおいに導かれほとんど迷わずクリア。赤ペンも落とさず無事ゴール！

ライバルは多々いましたが、みなさんフラッグを探しまくって迷ったようで3位になりました！（男女混合）豪華なトロフィーと賞品、そして何杯食べてもいい豚汁と心温かい役員の方たちとお話できて楽しい時間が過ごせました。大会後は仲間と反省とミスした場所まで歩き、そして車山まで登って景色を楽しんできました。



表彰式。例年は家族組の参加が多いが、今年はなぜかコアなメンバーが多い。

家族連れの参加者も多くとてもアウトホームな大会、ちょっと来年も出ちゃおうかなと思うイベントでした。

ファミリーコース

- | | |
|--------|---------|
| 1 国沢 楽 | 0:40:20 |
| 2 西崎 茜 | 0:42:55 |
| 3 木村友佳 | 0:43:27 |

一般コース

- | | |
|--------|---------|
| 1 元木 悟 | 0:33:00 |
| 2 水島 | 0:37:00 |
| 3 田島利佳 | 0:37:55 |

(田島利佳)

東日本大会宿案内

風光明媚な三河湖畔の宿



三河路

TEL 0564-86-3472

腰掛山荘

TEL 0564-86-3474

かじか苑

TEL 0564-86-3320

山根家

TEL 0564-86-3470